

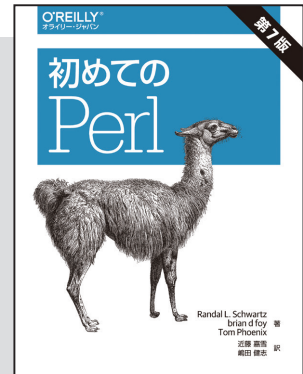
連載

ビブリオ・トーク
—私のオススメ—

… 関谷貴之 (東京大学情報基盤センター)

初めての Perl 第 7 版

Randal L. Schwartz, brian d foy, Tom Phoenix 著, 近藤嘉雪, 嶋田健志 訳
(株) オライリー・ジャパン (2018), 3,960 円 (税込), 408p., ISBN: 978-4-87311-824-6



私の書棚には『初めてのプログラミング』『Java 言語入門』『入門 Python 3』など複数の入門書が並んでいる。入門書を手にするのは、これまでとは異なる仕事に必要となったからで、その中の 1 冊が、今回紹介する『初めての Perl』の初版本である。購入したのは業務上 Perl を使い始めた 20 年以上前だった。

「Perl とは『Practical Extraction and Report Language』(実用データ取得レポート作成言語)の略(第 7 版 1.2 節 Perl とは何の略でしょうか?より引用)と言われる。強力な正規表現, 入出力が容易, モジュールで拡張可能などの特徴を持つプログラミング言語である。ターミナル上で実行するワンライナー(1 行だけで記述されたプログラム)から, 外部モジュールを組み合わせた大きなプログラムまで, Perl で記述できる。私はシステム管理や各種データの加工, 業務・研究用のアプリケーションの開発などで, Perl には大変お世話になってきた。Web アプリケーションを作成する授業で, ティーチングアシスタントとして学生と一緒に簡単なアルゴリズムを実装したこともある。

しかし他人に「Perl でプログラムを書いています」と言うと, 少々肩身の狭い思いをしがちだった。情報系の研究者に話すと「Perl ねえ」とあまり良い顔はされないし, 私より先輩のシステム管理者に話すと「awk, sed, シェルプログラミングを使いこなして一人前」のような扱いだっただ記憶がある。そ

のような状況にもめげずに『プログラミング Perl』『Perl クックブック』と Perl 本を買い揃えたものの, 残念ながら Perl 専門家にはなれずじまいだった。やがて時代に流されるように Ruby や Python に手を出して, 今となっては, コード中の \$@% といったシジル^{☆1}を少々目障りに感じる始末である。

それでも社会人生活で最もお世話になった Perl に敬意を払って『プログラミング Perl』を紹介しようと考えたが, 2002 年発行の第 3 版から更新されていない^{☆2}。いくらなんでもそれでは古かろうと手に取った本が『初めての Perl (原題 Learning Perl)』である。こちらは比較的最近の 2018 年に第 7 版^{☆3}が発行されていることから以下で紹介する。

「本書で想定している読者は, 少なくともプログラミングについて多少なりとも理解していて, さらに Perl を学ぶ必要がある人です」(1.1.1 節 この本は私に向いていますか?より引用)とあるように, 本書の内容は Perl (5.24) の特徴を踏まえた構成になっている。初心者向けのプログラミング言語の書籍であれば, 条件分岐や繰返し等をまとめた章がありそうだが, 本書では「2 章 スカラーデータ」の中で if 制御構造と while 制御構造 がごく短く紹介さ

☆1 sigil. Perl で変数の種類を表すために先頭に付ける記号のこと。Perl の特徴の 1 つ。

☆2 原著の『Programming Perl』は 2012 年に 4th Edition が発行されている。

☆3 原著の『Learning Perl』は 2021 年に 8th Edition が発行されている。目次を見る限りでは 7th Edition と大きな違いはなさそうである。

れている程度である^{☆4}。一方、Perlの特徴でもある正規表現については、「7章 正規表現」「8章 正規表現によるマッチ」「9章 正規表現によるテキスト処理」と3章も割かれている。大昔にアプリケーションを作成した際にはデータベース上のデータ入出力時の文字コードの取り扱いに悩まされたこともあったが、「付録C Unicode 入門」ではUnicodeの基礎からPerlでのUnicodeの取り扱いなども解説されており、非常に役に立ちそうである。

さて、これから新たにプログラミング言語を学び

^{☆4} リストの処理に特化したforeach制御構造が「3章 リストと配列」にあるほか、unless制御構造などのテクニックをまとめた「10章 さまざまな制御構造」で説明されている。

たい若者に本書をお勧めできるかという疑問だが、長年Perlから遠ざかっていた方々には一読の価値があると信じたい。「連想配列じゃなくてハッシュと呼んでよいんだ」「sayって何？」など、Perlから離れた時期によっては新たな発見があるだろう。

(2022年3月3日受付)

関谷貴之 (正会員)

kishii@rs.sus.ac.jp

東京大学情報基盤センター助教。博士(工学)。学習管理システムの設計・運用等を担当している。また、高等教育機関のシラバスの収集や分析に関する研究を行っている。



訂 正

本誌 63 巻 7 号 (2022 年 7 月号) の連載: ビブリオ・トークー私のオススメー「初めての Perl 第 7 版」に一部誤りがありました。お詫
びして訂正いたします。

P.359 著者略歴

(誤) kishii@rs.sus.ac.jp

(正) sekiya@ecc.u-tokyo.ac.jp
